



ラリー・ウィリアムズのパートナー なりた・ひろゆきと

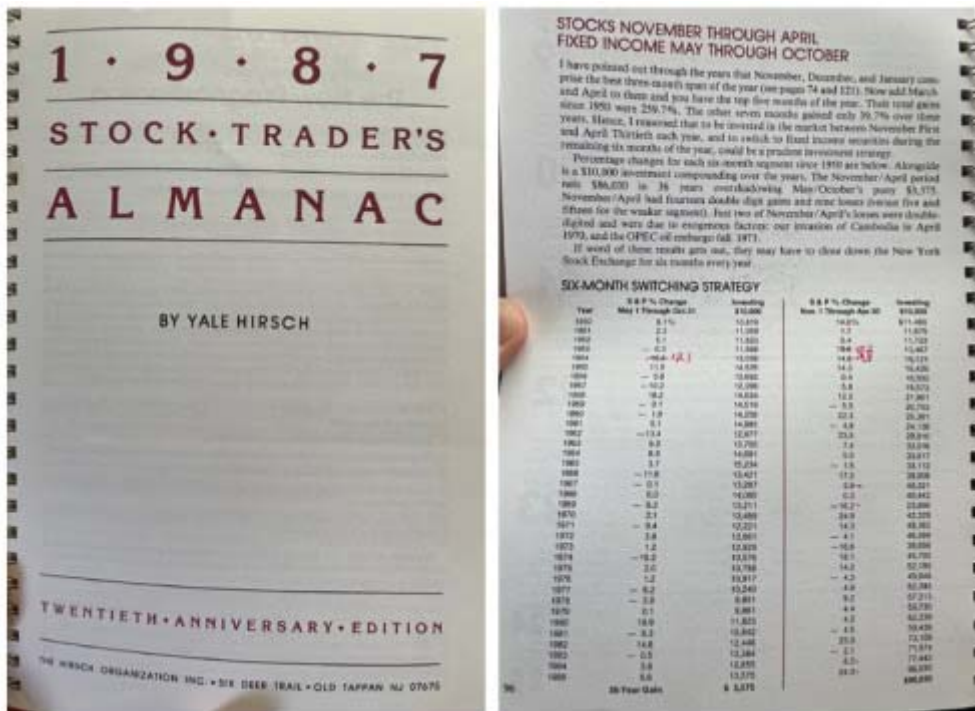
米アマゾンの第一人者、エール・ハーシュのあとを継いだ ジェフリー・A・ハーシュによる  
主要市場を分析した最新相場予測レポート！

▼▼▼ご購入の詳細はこちら▼▼▼

<http://trs.jp/p/5962/2011411200000>

2021年5月6日

### Reposition in May – Seasonality Works 5月のリポジショニングーシーズンアルは有効



ワースト6ヶ月間の5月から10月へ、ようこそ。

確かに最近、「5月に売って逃げろ」という話をよく耳にし、これから数日、数週間にわたってもっと多くの話を耳にするだろう。そしてその多くは、データや一貫した長期的な結果を見ていない否定的な意見となる。例えば、今週のCNBCの記事、「Why investors should ignore the old Wall Street adage “Sell in May”:ウォール街の格言、“5月に売れ!”を投資家は、なぜ、無視するべきか。」の一節；

”顔を踏んで要約できるような投資戦略は、おそらく悪い戦略である。クレディ・スイスのチーフ・アメリカン・エクイティ・ストラテジスト、Jonathan Golub(ジョナサン・ゴルフ)は語る。ゴルフ氏は立派なアナリストだが、彼の口先だけの発言は、ウィットに富んではいるものの、データや歴史を無視した的外れなものだ。”

長年にわたり、5月から10月までのワースト6ヶ月間(WSM)や11月から4月までのベスト6ヶ月間(BSM)には良いものもあれば、悪いものもあるが、長期的に見ると数字は反論の余地を与えていない。1950年から2021年4月30日までのS&Pの平均は、WSMで+1.6%、BSMで+7.2%である。しかし、それぞれの期間で仮想的な1万ドルの投資を複利で運用すると、その数字は驚くべきものになる。BSMの利益は1,011,918ドルで、WSMの利益12,623ドルの80倍に達している。

また、今週発表されたMarketWatchの記事では、Stifel社の機関投資家向け株式戦略の責任者であるBarry Bannister(バリー・バニスター氏)が、アルマナックが有名にした5月から10月にかけての季節的な弱さに基づいて、ワースト6ヶ月間(WSM)について当社と同じような控えめな見通しを述べている。

バニスター氏の分析は理にかなっているが、当社が35年間にわたってアルマナックに掲載してきたのと同じ、1950年に開始した最初の1万ドルの想定投資を使って彼が示した表には、“1年の12ヶ月すべてに投資する(つまりS&P500から一度も撤退しない)と、現在では23,525,500ドルの価値があるということに注目することが重要”という怪しげな脚注が付いている。

5月から10月までの78,215ドルと11月から4月までの2,986,171ドルの2つの累積合計を足すと3,064,386ドルとなり、脚注にある12ヶ月間の保有額とはかけ離れている。バニスター氏は、「11月1日から4月30日までのリターンは、5月1日から10月31日までのリターンの38倍」と、ベスト6ヶ月間がワースト6ヶ月間を打ち破ったことを認めている。

「Sell in May: 5月に売れ!」、別名「Best Six Months Switching Strategy: ベスト6ヶ月間スイッチ戦略」についての本を発行した。これを発見したのは、当社の偉大な創業者であり、97歳を数える「ストック・トレーダーズ・アルマナック」の生みの親であるエール・ハーシュ。彼は1986年に、1987年の20周年記念版『Stock Trader's Almanac: スtock・トレーダーズ・アルマナック』で初めてこの戦略を発表した。2022年の55周年記念版は、まもなく印刷所に送られる予定である。

当社は、単に「5月に売って終わり」ではない。当社は半年間のベストスイッチング戦略を実行する方法として、よりニュアンスのあるアプローチを採用している。5月にポジションを入れ替え、テクニカルのタイミング指標であるMACDを使ってシーズナルの売買シグナルを出すことで、結果を向上させている。

4月22日の引け時点で、DJIA(ダウ)とS&P500にベスト6ヶ月間のMACDシーズナル売りシグナルが発動された。11月5日の買いシグナルから、DJIAは+19.1%、S&Pは+17.8%上昇した。MACDクロスオーバーやネガティブヒストグラムがゼロラインを大きく上回っていることから、この売りシグナルはかなりタイムリーなものと言える。ナスダックのベスト8ヶ月間は6月末までなので、ナスダックのシーズナルMACDの売りシグナルが最も早く発生するのは6月1日となる。